



JAいるま野  
「自己改革」の**実践**  
2019

日本でいちばん輝くJAを目指して



## 変わらない組合員との「絆」を守るJAであるために

### ～トップメッセージ～

いるま野農業協同組合  
代表理事組合長 大木清志



日本の農業は、時代の移り変わりとともに大きく様変わりしており、今後、数年後にはさらに多様化がすすむと思われま

す。JAいるま野は、10万人を超える組合員の皆様の多様な価値観・意見を尊重しながら、「地域農業」・「地域社会」の未来に向けて、今まで以上に組合員の皆様に寄り添い、支え続ける覚悟をもって、懸命に自己改革をすすめております。「さらなる取り組み」を求め

るご意見・ご声援とともに、今までの3年間の自己改革の歩みを総括し、お伝えしてまいります。新たな第八次中期3ヶ年計画(令和元年度～令和3年度)では、これまでの「農業者の所得増大・農業生産拡大」の取り組みに一層力強く踏み込み、組合員・利用者・地域住民の皆様のために「地域の活性化」に尽力し、組合員の皆様が「わたしたちのJA」として参加・参画していただけるよう、今後も自己改革に取り組んでまいります。

#### ■JAいるま野の理念・基本方針

##### 理 念

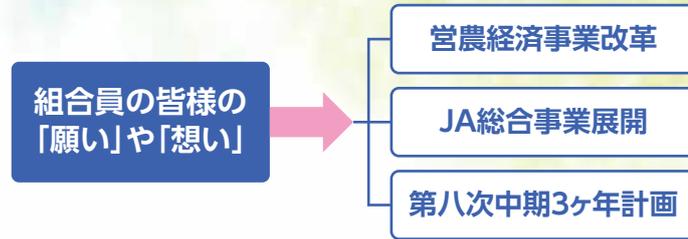
人に優しい豊かな地域社会を目指して

##### 基本方針

1. 「農業者の所得増大」「農業生産拡大」へのさらなる挑戦
2. 「地域活性化」への貢献
3. 「わたしたちのJA」意識の向上と協同活動の展開

対話を重ねた3年間、  
組合員の皆様とともに

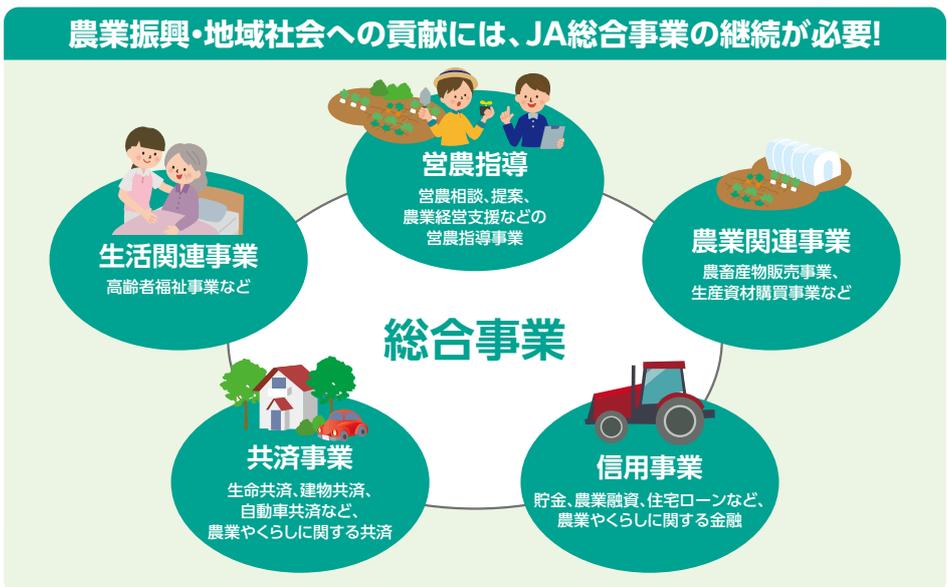
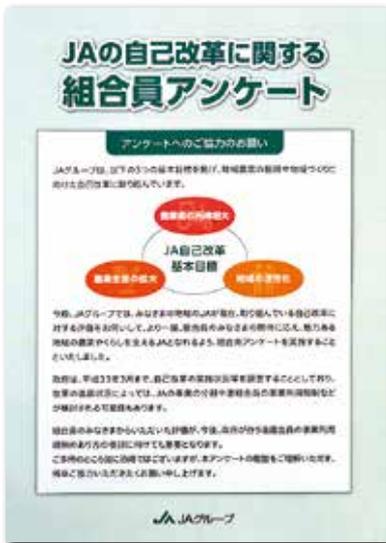
2回にわたる「担い手全戸訪問」や様々なアンケート調査、正組合員全戸訪問運動などで頂いた、組合員の皆様の”声”や”想い”を、可能な限り、事業計画や総合事業展開へ反映してまいりました。



## 迫る『准組合員制度のあり方』の検討 ～農協改革集中推進期間の5年を終えて～

令和元年5月頃までとされた「農協改革集中推進期間」を終えて、政府は、改正農協法施行から5年以内(令和3年3月まで)に、『准組合員制度のあり方』の結論を出します。『准組合員制度のあり方』の検討は、『准組合員の事業利用規制』に直結するものです。

JAいるま野は、全国のJAとともに「JAの自己改革に関する組合員アンケート」調査を通して、組合員の皆様から【JA総合事業の継続】と【准組合員制度の重要性】への理解の声を集めています。

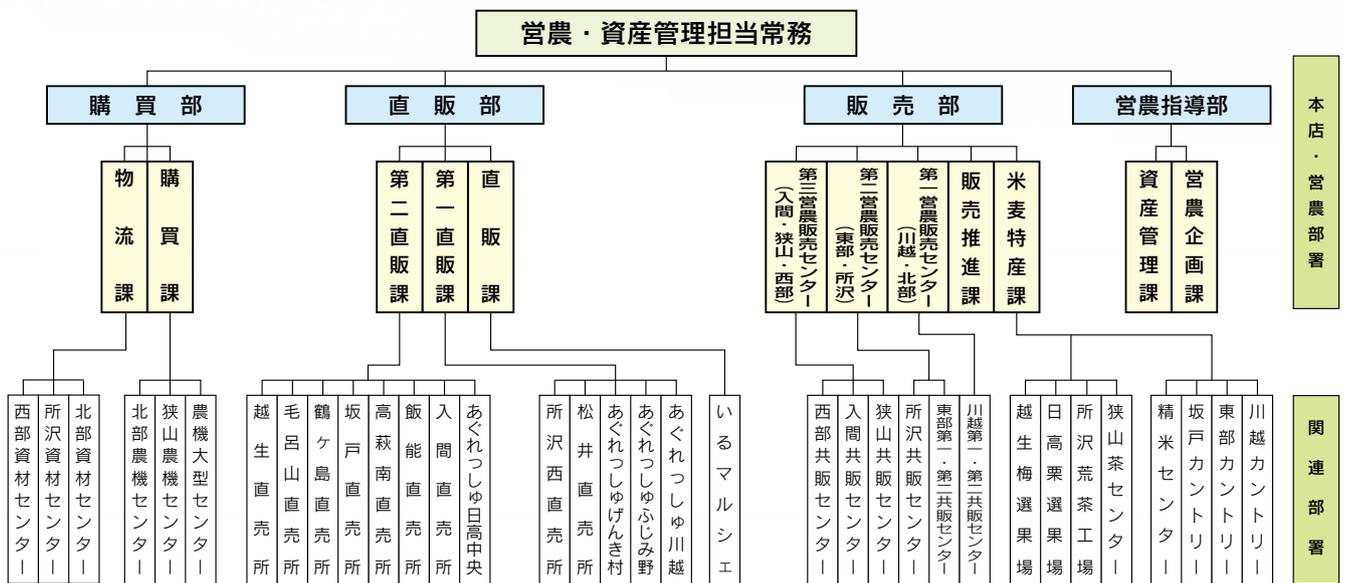


3年間の  
振り返り

# 「農業者の所得増大」 「農業生産拡大」への挑戦

## 営農経済機構改革(平成30年4月1日～)

JA自己改革の取り組みを更に加速するため、経営資源の集中と再配置による効果的・効率的な事業実施を目指し、新たに営農経済事業機構改革を実施しました。



## 新たな営農経済事業実施体制について

### ■経営資源の集中と再配置による効果的・効率的な事業実施体制の構築

#### (1) 営農センター機能の再編による営農経済事業拠点の機能強化

生産から販売まで一体的な事業運営を行うため、7つの営農センターを再編し、営農指導・生産資材販売・推進機能を生産・販売拠点に集約しました。高い専門性と迅速な対応により営農指導強化に取り組んでいきます。

#### (2) 支店の営農経済業務体制の強化

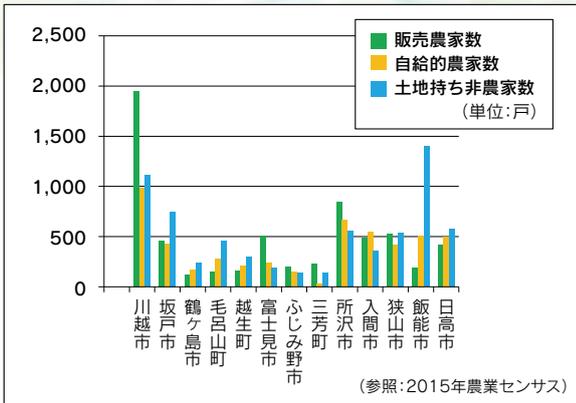
経済渉外担当者を順次配置し、生産資材の予約注文をはじめ、既存倉庫を活用して窓口販売を進めていきます。

#### (3) 野菜共同利用施設・直売所の再編・整備

経営資源の集中・再配置による農業生産の拡大に向けて、野菜共同利用施設並びに直売所の再編・整備に取り組めます。

# 『出向く営農推進体制』の強化と『新たな担い手経営体の育成』

## 管内の農家の状況



管内も農業の多様化・担い手不足・耕作放棄地の増加が明らかで、組合員のニーズの変化に応えられるため、平成30年4月『営農経済事業改革』に取り組みました。

積極的に経営資源の投入をすすめ、32名の営農推進員体制へ強化を図り、5,690件の営農台帳を整備するなど、経営規模に応じた営農指導・経営指導をすすめております。

## 第七次中期3ヶ年計画の自己改革の取り組み

	3年間の実績
大口・中間層世帯提案(件数)	112世帯
法人世帯提案(件数)	31法人
新規就農者数(人数)	42名
大口販売農家の経営管理提案(件数)	33件



高度化支援助成を説明する営農推進員

### 【農業経営高度化支援助成】

農産物の生産拡大・高品質化並びに先進技術の導入等農業経営の高度化・安定化に取り組む農家組合員の育成・支援をしています。(平成30年度～令和2年度)

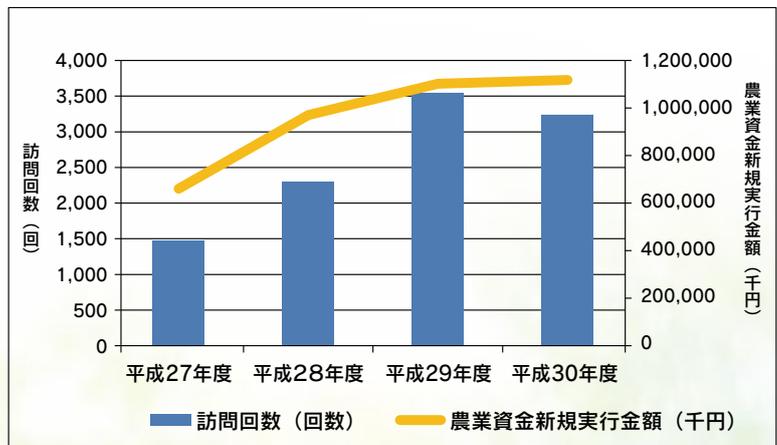
平成30年度実績 275件 49,825,880円助成

## 若い担い手の声をJA経営へ反映させる取り組み



平成28年度に青年後継者組織協議会を設立し、平成29年度役員改選で青年後継者理事の選出を行い、若い力の結集に努めています。

## 農業メインバンク機能強化



組合員のニーズに応えるために、農業メインバンク機能強化として、営農推進員と担い手金融リーダーによる訪問活動を実施しています。



# いるま野の販売基本戦略

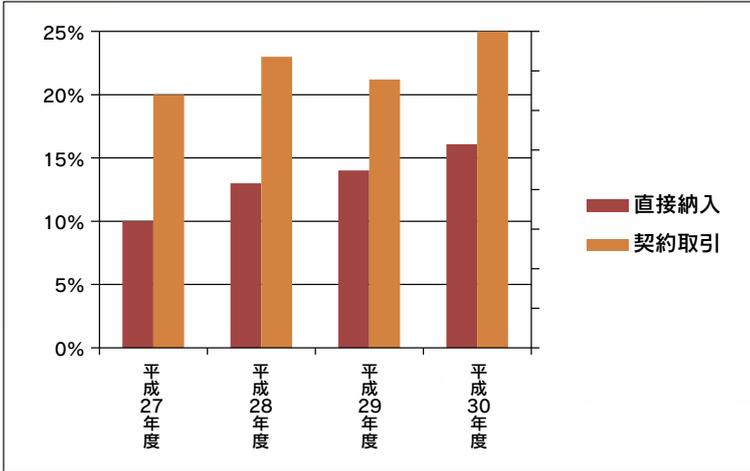
「生産者が儲からなければ次世代はない!」を目標に掲げ、生産者や取引先との対話・連携を重視し、売れる仕組みの構築に取り組んでいます。

特に、共同販売事業は園芸組織、養蚕組織、酪農・畜産・養鶏組織の約900名超の生産者の力の結集であり、「力強い産地」であり続けるために、加入運動を展開していきます。



共同販売事業の主力の里芋の出荷作業

## ■直接納入・契約取引の推移(野菜共販販売高比)

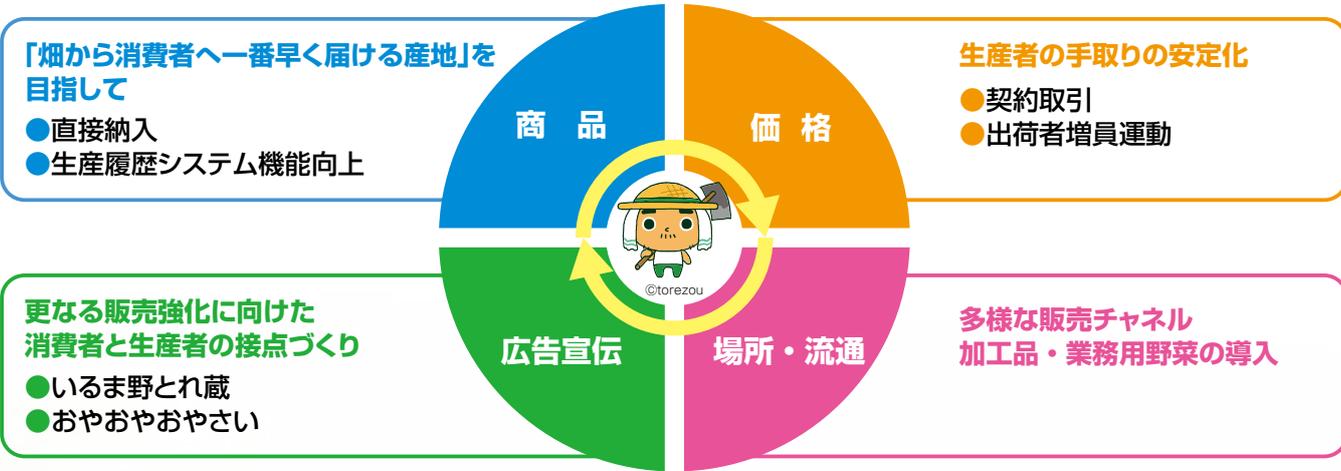


いるま野オリジナルキャラクター  
「とれ蔵」による販促活動

▶動画はこちらから

おやおや おやさい

©torezou



量販店での販促活動



加工用に納品されたいるま野産ほうれんそう



幅広い消費者層に向けて開発された加工品

## いるま野の水田農業ビジョンの実践

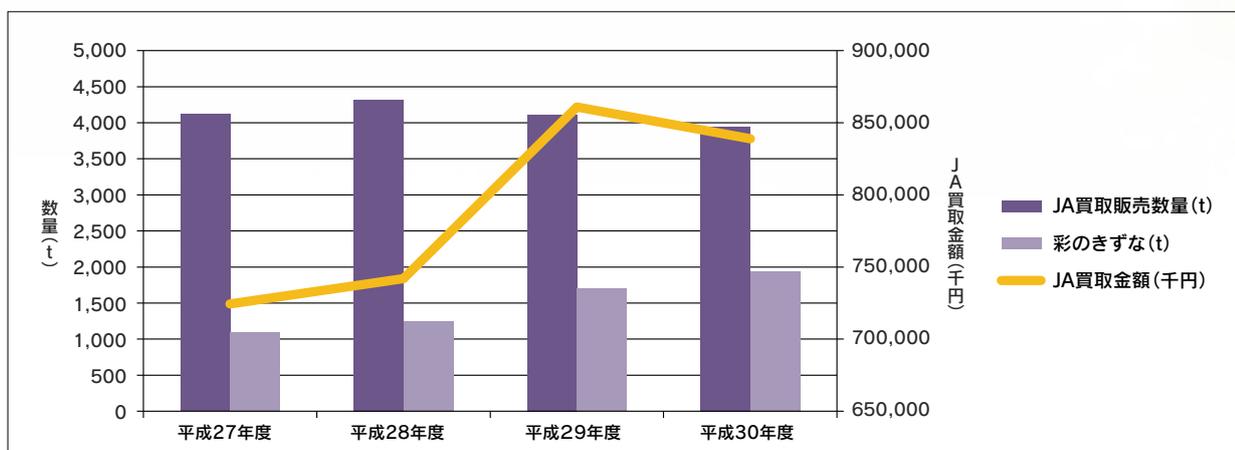


独自戦略ブランドの「彩のきずな(県東地域)平成29年産米」が、食味ランキングで県内産として26年ぶりに『特A』評価を受けました!



水稲あぜ道講習会

米政策の大変革期を迎えるなか、生産者とJAが一体となって地域内消費を基本とした「売れる米づくり」の取り組みをすすめるとともに、マーケットイン(需要に応じた生産と販売)の取り組み強化もすすめています。



### 「いるま野鮮度米」の商標登録など、積極的なPR活動



JAグループ国産農畜産物商談会でバイヤーにPR

### 管内の新米を消費者へいち早く届けるために



極早生品種「五百川」の試験的生産と販売へ



平成30年6月  
いるま野産彩のきずなでの「金芽米」を一般販売開始

### マーケットインの取り組み強化

実需先	品 種	特 徴	内 容
東洋ライス㈱	彩のきずな	管内の生産環境に適したJAいるま野独自ブランド品種	金芽米「彩のきずな」
㈱ローソン	ゆうだい21	収量性に難はあるが、冷めても美味しく弁当に適した品種	「ローソン」のお弁当
㈱吉野家	大粒ダイヤ	収量性が高く業務用米として好評価を得ている品種	牛丼屋等の業務用向け
小江戸鏡山酒造㈱	さけ武蔵	埼玉県で育種した酒造好適米	「小江戸鏡山酒造」の地酒
冷凍食品加工会社	ほしじるし	収量性が高い品種	「ニチレイ」等の冷凍米飯等
	ちほみのり	業務用米として試験栽培中	

JAいるま野産米「彩のきずな」を使った新たな需要開拓

## 非常食セット



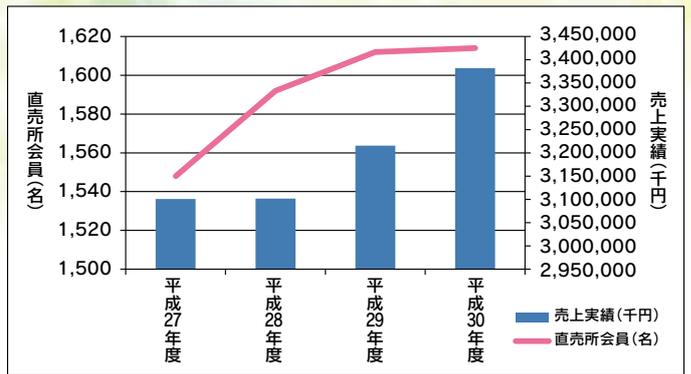
「彩のきずな」を使用した加工品

# 直売所・量販店による販売強化、特産品の販路拡大

直売所を拠点とした地産地消の取り組みにより、農業者の所得増大に努めました。

消費者ニーズに対応した作付け提案や直売所間流通をすすめ、充実した品揃えによる、魅力ある店舗創りに取り組みました。

平成30年4月より、直売・産直事業に特化した営農推進員を配置して、「出向く営農指導」に取り組んでいます。



⑤「フレッシュにんじんスムージー」

⑥「グリーンスムージー」

「おやさいスムージーbyレタスクラブ」  
情報誌とコラボし商品化

鮮度の高い野菜が並ぶ直売所店内



消費者と生産者のコーディネーター「食育ソムリエ」

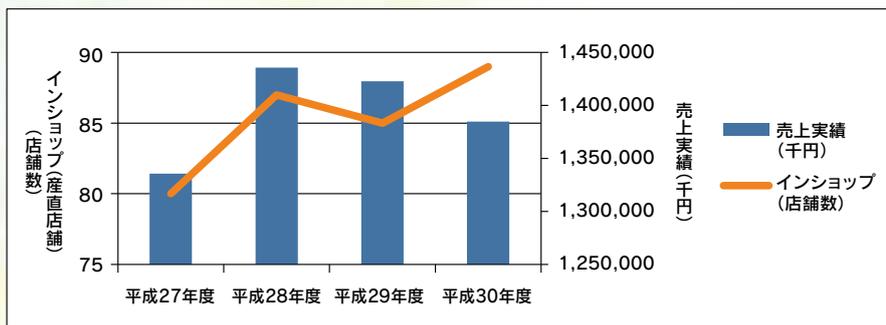


中規模直売所を基軸にリニューアル展開



准組合員の意見を反映!!  
直売所利用の多い准組合員の方からモニターを選考して、対話をすすめています。

## 注目を浴びる産直事業(インショップ)の需要増加



直売所を盛り上げる生産者組織

# コスト低減に向けた取り組み

農業生産コスト低減 ⇒ **3.3%削減** (平成27年度比)

## 主な削減内容

- 仕入先の見直しによるダンボール価格の引き下げ 平成27年度比 10%削減
- ほうれん草ダンボール直送枚数 500枚 ⇒ 300枚
- 水稲用高度化成銘柄の集約 平成27年度比 22%削減
- 直売所FG(入札による) 平成27年度比 23%削減



コスト削減した独自ダンボール



JAグループの総力を結集した銘柄集約

## 土壌診断に基づく適正施肥の強化



過剰施肥によるコスト上昇を抑える取り組み

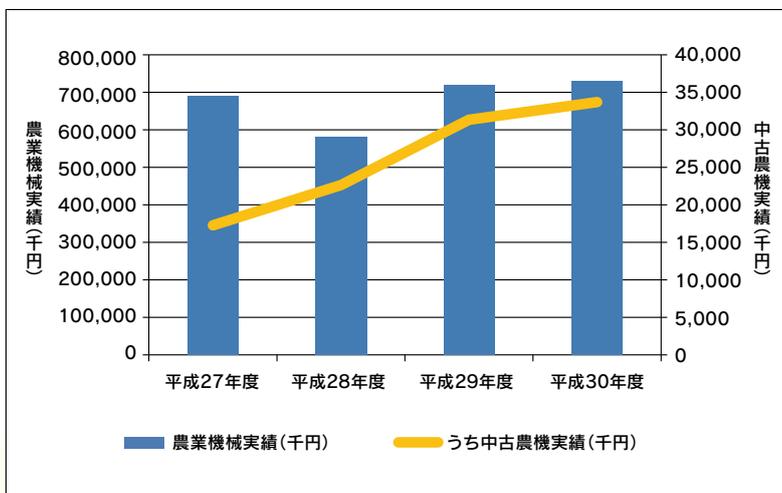
## 省力化技術



省力化技術によるコスト削減の研究

## 農業機械導入コスト削減

～求められる中古農機需要への対応～

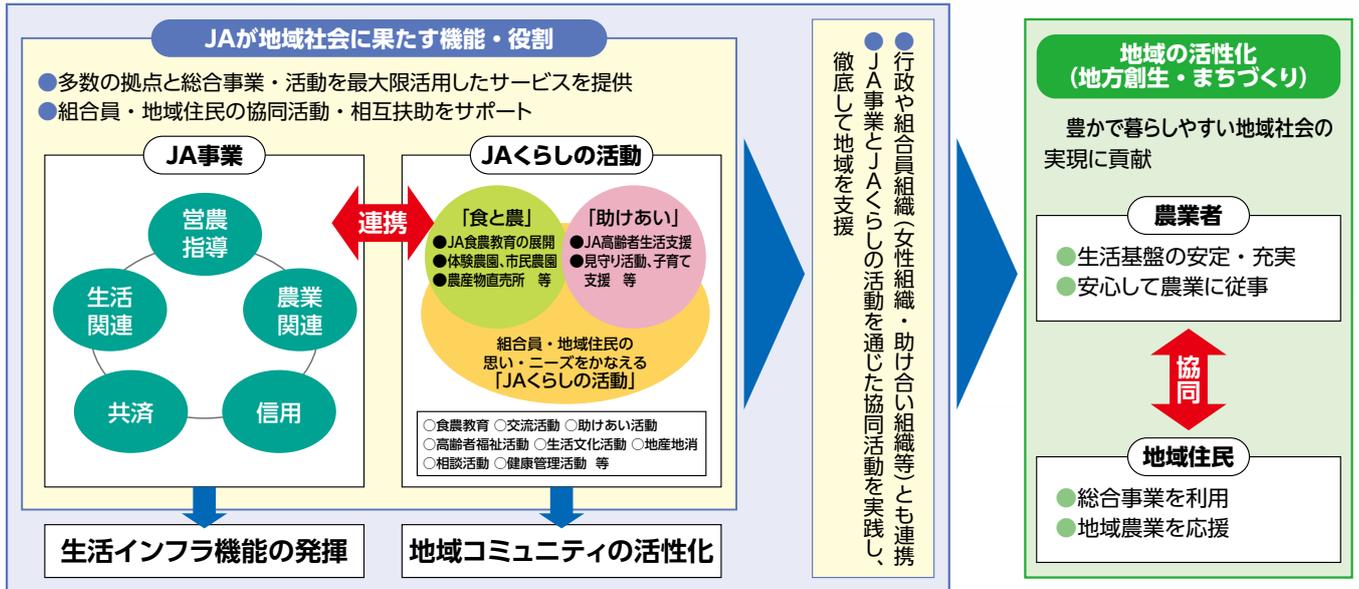


農業機械展示予約会

# 3年間の 振り返り

# JA総合力発揮による 地域活性化への貢献

地域農業の振興を目指すとともに、組合員の皆様に求められる「総合事業」や「JAくらしの活動」の展開、行政や地域の関係団体との連携により、地域社会の活性化に取り組んでいます。



## 正・准組合員の事業運営参画

組合員一人一人の声を、想いを、JA経営に反映するため、積極的な対話運動（正組合員全戸訪問運動）を継続しています！

現在も全国一斉の組合員アンケート調査に取り組んでおり、JAの改革状況を評価して頂いています。

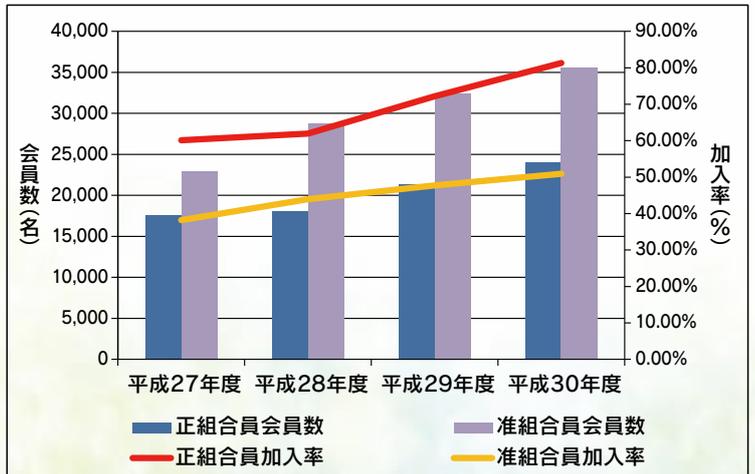


執行部による担い手訪問

平成31年3月末

正組合員の組合員  
ポイントカード保有者 24,049人  
(普及率81.33%)

平成27年度対比 6,421人増加  
21.22%上昇



## 地域活性化 ～地域実態・ニーズを踏まえたJA事業とくらしの活動の展開

組合員の皆様の農業・地域社会を大切にする想いを、少しでも次世代へつなぐための活動を行っています。

### 高齢者の生活支援活動



助け合い組織による「ミニディサービス」

### 未来へつなぐくらしの支援



食の大切さと命の尊さを学ぶ「わくわくアグリスクール」

### 食農教育の実践



こども料理コンクール最優秀賞の直売所店頭販売

### 支店協同活動の充実



サツマイモ収穫体験を通じた、支店運営委員と職員の地域貢献活動

## 組合員主体の組織活動の展開

～くらしの活動の交流による豊かな地域社会の実現

### 女性組織活動の充実

会員3万人に向け、増員運動を展開中！  
多様な活躍の場が広がっています。



「パン作り教室」を通して、地域の方との親睦を図った新たな活動

### 年金友の会の活性化

人生百年時代に向け、会員6万人を目指し、  
豊かな老後をサポートしています。

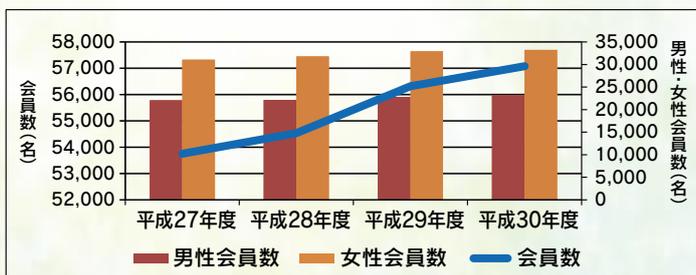


年金友の会グラウンドゴルフ大会



北部女性部「坂戸よさこい」18年連続出場

### ■年金友の会の会員状況





# 広報機能の強化 ～「食」「農」「協同組合」にかかる理解の醸成

地域農業が元気に輝くためには、「食」「農」「協同組合」への地域社会の理解が不可欠です。広報機能を経営戦略の重要な柱と位置付け、様々な広報媒体を通じた情報発信を進めています。

## ●公式ホームページの全面リニューアル(平成31年1月)

イメージ新!



### 新ホームページのコンセプト

1. 「地域農業」と「農業協同組合」のイメージアップ
2. メインターゲット層を「地域の一般消費者」と明確化
3. 積極的に更新できる仕組みづくり
4. わかりやすいレイアウト(3クリック以内)

## ●広報誌「いるま野」のリニューアル(平成29年4月)

毎月、管内農業のすばらしさをお届けしています!



### 新広報誌のコンセプトを「雑誌のように楽しめる広報誌」と位置付け、わかりやすく見やすく、四季折々の地域の良さを伝えられるよう工夫しました。

平成30年度広報活動優良JAとして、「組合員向け広報誌の部」にて優秀賞を受賞しました。

## ●スマホアプリ「旬みっけ」

## ●公式Facebook

フォロワー数 1444人



JA旬みっけ

アクセスはこちらから▲  
「旬」な情報もりだくさん!

JA旬みっけ



Facebook

アクセスはこちらから▲  
地域の最新情報をお届け!

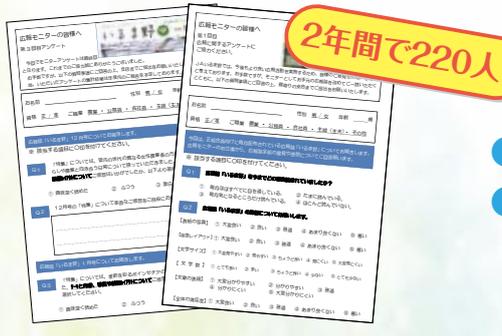
Facebook

## ●支店だより

## ●広聴活動読者モニター制度



全支店発行



2年間で220人!

このほかにも

- 日本農業新聞
- マスコミ向けプレスリリース

# 准組合員の皆様へ向けた取り組み

地域農業の  
応援団

7万人を超える准組合員の皆様に、もっと「食」・「農」・「協同組合」に関心を寄せていただき、「共感」と「体験」を通じて、JA組織・事業活動に「参加」・「参画」していただきたいと願っています。

「准組合員とは、「食」と「JA事業利用」を通じて地域農業振興に貢献する方々」

「准組合員とは、正組合員とともに地域・農業・協同組合の団結の輪を広めるパートナー」

## 准組合員コミュニティ誌「ホットタイム」の定期発行(4月・10月)



准組合員の皆様に、「地域農業」に関心を持っていただき、地元農産物の購入とJAイベントへの参加を呼び掛けています。

准組合員の全世帯(6万世帯超)への定期的なDM発行

## ●准組合員限定・日帰り農業収穫体験ツアー

3回のツアーに、1200名超のご応募をいただきました!

地元農産物の収穫体験を通して、「農業」「JA」に親しんでいただく“きっかけづくり”となるよう、取り組んでいます。



自己改革の取り組みを説明



楽しさいっぱいの収穫体験

## ●キッチン・ファーム計画 「家計にやさしさ、耕すキッチン」



住宅ローン利用者向け企画  
「キッチン栽培セット」プレゼント

## ●農業収穫体験懸賞付 金融商品企画

好評



金融商品利用者向けの企画

このほか、管内の小学校を対象とした食農教育の活動には年40回以上、のべ3000人超の参加をいただいております。

これからも地域農業の未来につながる企画に取り組んで参ります。



# 第七次中期3ヶ年計画の自己改革工程表の結果

●3年後(平成30年度)の成果目標:118億円

## ■販売品取扱高

平成27年度実績：114億円      平成28年度実績：117億円  
 平成29年度実績：117億円      平成30年度実績：112.5億円

No.	重点施策	主な先行指標		アクションプラン (主な取り組み)					
		最終目標	最終実績	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
1	(1)出向く営農推進体制の強化に向けた層別管理による情報収集と提案の実施	大口・中間層世帯提案 (件数)		達成	台帳整備の完了と提案				
		100世帯	112世帯 (112%)						
	(2)県担い手サポートセンターと連携した情報収集と提案の実践	法人世帯提案 (件数)		達成	法人提案				
		30法人	31法人 (103%)						
2	(1)新規就農者・多様な担い手支援パッケージの確立	新規就農者 (人数)		達成	新規就農者・多様な担い手支援				
		30名	42名 (140%)						
	(2)農業経営管理支援の強化	大口販売農家の経営管理提案 (件数)		達成	大口販売農家の経営支援				
		30件	33件 (110%)						
3	(1)都市近郊産地の特性を活かした高鮮度で、安全・安心な農産物の量販店や小売業者への直接納入拡大	直接納入の拡大 (野菜共販販売高比)		販売店・小売業者への直接納入拡大					
		20%	16% (60%)						
	(2)事前取引価格・数量決定による契約取引の拡大	契約取引の拡大 (野菜共販販売高比)		価格・数量の事前取り決めによる契約取引の拡大					
		30%	25% (50%)						
4	(1)「彩のきずな」プロジェクトによる「特A米」取得への取り組み	「彩のきずな」買入数量の拡大 ( t )		地産地消・学校給食会への販売拡大					
		2,200 t	1,940 t (76%)						
	(2)担い手等への契約栽培に向けた生産面積の拡大	契約栽培の取り組み (栽培面積)		新たな販売先による契約栽培の取り組み					
		20ha	17ha (85%)						
5	(1)農業資材コスト低減	生産資材物流コスト (平成27年度対比)		自己取を含めた物流コスト見直しによる供給価格への反映					
		10%削減	9.2%削減 (92%)						
		トータル生産コスト (平成27年度対比)					仕入構造見直しによる生産資材価格の低減		
		10%削減	肥料(6.5%削減) 農薬(0%削減) その他生産資材(3.2%削減)						
	(2)農業機械導入コスト低減	中古農機取扱高 (農機取扱高比)		中古農機の取扱拡大					
		10%	4.6% (28%)						
6	(1)直売会員の増強	直売会員 (人数)		明日の農業担い手育成の実践、定年帰農者・Uターン帰農者・女性農業者への農業塾開講による就農支援					
		1,648名 (100名増)	1,614名 (66名増) (66%)				営農指導員による魅力ある直売農業の提案		

# 第八次中期3ヶ年計画のJAいるま野 自己改革工程表

「農業者の所得増大・農業生産の拡大」へのさらなる挑戦、「地域活性化」への貢献、「わたしたちのJA」意識の向上と協同活動の展開の3つの基本方針を掲げ、組合員の営農と生活のために貢献できるJAを目指して、さらなる自己改革に挑みます。

■3年後の成果目標：販売品取扱高 平成30年度末実績 112.5億円→令和3年度末目標 122億円

## 1. 「農業者の所得増大・農業生産拡大」へのさらなる挑戦

No.	重点項目	No.	重点施策	主な成果指標(3年間の目標)			アクションプラン(主な取り組み)		
				令和元年度末目標	令和2年度末目標	令和3年度末目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	営農相談・提案活動の充実	(1)	経営規模に応じた営農指導と経営支援	担い手経営体への営農指導及び経営提案(件数)			経営規模・販売形態に即した提案活動の実践		
				40件	70件	100件			
			(2)	新規就農支援	新規就農者(人数)			明日の農業担い手育成塾・農業塾・営農推進員等による生産指導の実践	
			10名	20名	30名				
		(3)	農地集約化の促進	農地集約化(件数)			農地利用集積円滑化事業・農地中間管理事業の利用提案		
				15件	30件	45件			
2	販売基本戦略の実践	(1)	主力品目野菜の契約取引販売の拡大による有利販売の実現	契約販売取引の拡大			契約取引先の拡充		
				3,540t	3,570t	3,600t			
		(2)	主力品目野菜の生産拡大と安定供給による有利販売の実現	主力品目野菜取扱量の拡大			計画出荷からの安定供給による単価アップ		
				22,350t	22,500t	22,600t			
3	JAいるま野水田農業ビジョンの実践	(1)	「彩のきずな」の更なる生産拡大と「特A」取得と認知度向上への取り組み	「彩のきずな」の買取数量の拡大			「彩のきずな」の生産拡大と安定品質・安定収量の確保を目指した取り組み		
				2,200 t	2,240 t	2,340 t			
			いるま野産米の付加価値向上と金芽米(健康機能米)を活用した健康増進活動の展開	金芽米「彩のきずな」の原料玄米数量の拡大			「金芽米」の取扱い拡大と「彩のきずな」の付加価値向上と健康機能米としての普及活動の展開		
			300 t	350 t	400 t				
		(2)	マーケット・インに基づく生産販売への取り組み	契約栽培の拡大			生産者の所得向上を目指したマーケット・インの生産販売と企業との連携による信頼関係の構築		
				18ha	19ha	20ha			
4	直売所・量販店を拠点とした農産物販売強化	(1)	直売所・量販店における農産物の販売拡大	直売・直販農産物の販売高拡大			出向く営農指導による農産物の品揃え強化と出荷量の拡大		
				0.4億円	0.8億円	1.1億円			
5	農業生産トータルコスト低減の取り組み	(1)	生産者の期待に応える生産資材の提供と価格の実現	肥料(銘柄集約)の取扱い拡大			低コスト資材・銘柄集約や段ボール等の規格集約		
				2品目	3品目	5品目			
				2,000袋	3,000袋	5,000袋			
					生産資材物流コスト削減(平成30年度対比)			物流の合理化によるトータルコストへの反映	
			2%削減	3%削減	5%削減				
		(2)	生産技術支援等による労働生産性の向上	農業機械類導入価格の削減			農業機械類の共同購入の実施		
				2品目	4品目	6品目			

## 2. 「地域活性化」への貢献

No.	重要項目	No.	重点施策	主な成果指標(3年間の目標)			アクションプラン(主な取り組み)		
				令和元年度末目標	令和2年度末目標	令和3年度末目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	支店協同活動の充実	(1)	支店を拠点とした支店協同活動の実践	支店運営委員会による支店協同活動			支店運営委員会を中心とした支店協同活動の実践		
				全支店 1回	全支店 1回	全支店 1回			

## 3. 「わたしたちのJA」意識の向上と協同活動の展開

No.	重要項目	No.	重点施策	主な成果指標(3年間の目標)			アクションプラン(主な取り組み)		
				令和元年度末目標	令和2年度末目標	令和3年度末目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度
1	組合員の「意思反映」「運営参画」の実践	(1)	正組合員との対話運動	正組合員対話運動の実施(未利用者・低利用者への働きかけによる全正組合員訪問)			正組合員対話運動の継続実施		
				年1回以上の訪問	年1回以上の訪問	年1回以上の訪問			
		(2)	准組合員の「運営参画」(准組合員懇談会の実施)	准組合員懇談会の開催			准組合員の「意思反映」「運営参画」の実施		
				年1回以上	年1回以上	年1回以上			



## 農産物を作る人、食べる人 すべてが「地域農業の応援団」です。

「平成」から「令和」の時代へ移り変わりましたが、JAいるま野は組合員との絆を大切に、いつまでも地域農業が元気に輝き続けられるよう、これからも走り続けます。

～世界の協同組合の合言葉～  
『一人はみんなのために、みんなは一人のために』



〒350-1105 埼玉県川越市今成2-29-4  
TEL.049-224-1607(代) FAX.049-224-1617  
ホームページ： <https://www.ja-irumano.or.jp/>

